

学校教育推進室だより

すべての子どもに
生きる喜びとあすをつくる力を

東大阪市教育局学校教育部 学校教育推進室 令和8年6月3日
〒577-8521 東大阪市長本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268～9

総合的視点に立つ教育の推進

人権尊重に徹した教育の実践

信頼に応える学校づくり

学校・家庭・地域の協働

重点目標



授業改善の推進役として ～学力向上支援コーディネーター連絡協議会～

東大阪市では、全小・中学校に学力向上支援コーディネーター（通称：学支 Co）を位置づけ、児童生徒の学力・学習状況の把握と、課題に応じた授業改善の推進に努めています。

また、各校の学支 Co が集まり、学力向上に関わる情報を広く収集・発信を行う場として、「学力向上支援コーディネーター連絡協議会」を今年度は年間7回実施します。

4月24日（金）に開催した令和8年度第1回協議会では、市が進める学力向上の方向性「子ども主体の学びへの転換」を確認するとともに、今年度の自校の学力向上計画について意見を交わしました。また、児童生徒が授業等で活用している Google ツールのチャット等を用いたクラウド上での意見交流を体験したほか、本市が導入している AI ドリル「Qubena（キューベナ）」の操作研修も実施し、児童生徒にとってより効果的な活用方法を参加者全員で考えました。本号では、その内容の一部をご紹介します。

学力向上フラッグシップ校との連携

例年、東大阪市では、市域の課題に対応する学力向上に向けた先進的な取組みを進め、その取組みを普及・発信する「学力向上フラッグシップ校（F校）」を設定しています。令和8年度は、7校がF校として取組みを推進します。学支 Co はその取組みを参考に、自校の授業改善を進めています。

【R8年度学力向上フラッグシップ校】

- ・確かな学びをはぐくむ学校づくり推進校
：池島学園前期、新喜多中
- ・言語能力をはぐくむモデル校
：若江小、池島学園後期
- ・情報活用能力をはぐくむモデル校：英田南小
- ・授業改善の推進校：英田北小、布施小

AI ドリル「Qubena」活用に向けた操作研修

AI ドリル「Qubena」の効果的な活用に向け、教員を対象とした操作研修を実施しました。研修では、機能の理解を深めるとともに、子ども一人ひとりの理解度や学習状況に応じた「個別最適な学び」の実現につながる活用方法を学びました。今後も、子どもたちの主体的な学びを支え、より良い教育の充実に努めていきます。

今年度アップデートされた、学習の理解度や取組状況を把握できる学習カルテ機能や、基礎的な計算力の定着を図る計算ドリル機能なども活用していき、子どもたちの頑張りを見取っていきます。



学力向上計画に向けた意見交流

市の方向性と自校の課題をふまえ、今年度の校内の学力向上計画について、グループで意見交流を行いました。また、学支 Co として、どのように校内で取組みを推進するかについても情報交換しました。

協議会での共通テーマに基づく意見交流は、学支 Co どうしの横のつながりを深める機会となり、市全体の授業改善の推進につながっています。

令和8年度 学力向上支援計画			
目標	すべての教科において、目的意識・理解態度をもって学び、基礎的な学力（国や算）を身に付け、自ら学ぶ意欲を高める。	教科指導の観点から1人1人授業やドリル等を活用した子ども主体の学びへの転換に向けた授業改善	
キーワード	指導と評価の一体化	思考力・判断力・表現力等の育成	子ども主体の学びへの追求
Plan			
Do			

【参加者の感想】

- これまでの取組みを引き継ぎながら、子ども主体の学びのための実践をしていきたいと思います。
- 子どもの「学びたい」をどのように引き出すかが大切だと感じました。アナログやデジタルのメリット デメリットを考える機会となりました。他の中学校区の方々とも話せて今年の学力向上の方向性が明確になりました。

熱中症予防のために

熱中症とは、高温多湿な環境下で、発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていない時でも発症し、めまいや吐き気、頭痛、失神等様々な症状をきたし、場合によっては死に至る場合もあります。熱中症について正しい知識を身につけ、予防行動を積極的にとりましょう。

熱中症の症状

めまい 立ちくらみ 生あくび 大量の発汗 筋肉痛 筋肉のこむら返り

症状がすすむと

熱中症の症状

頭痛 嘔吐 倦怠感 判断力低下 集中力低下 虚脱感

予防の行動 ～暑さを避ける、身を守る～

屋内では

- ・エアコン等で温度を調節
- ・遮光カーテン、すだれを利用
- ・室温をこまめに確認
- ・WBGT 値も参考に

屋外では

- ・日傘や帽子の着用
- ・日陰の利用、こまめな休憩
- ・天気の良い日は、日中の外出をできるだけ控える

からだの蓄熱を避けるために

- ・通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- ・保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

※ 日ごろから栄養バランスのとれた食事や睡眠、運動・遊びをとおして暑さに負けない体づくりを実践しましょう！



6月は「子どもの安全確保推進月間」



毎年6月は「子どもの安全確保推進月間」、

6月8日は「学校の安全確保・安全管理の日」

今年で大阪教育大付属池田小学校の児童等殺傷事件から25年となります。大阪府教育庁では事件を風化させず、二度とこのような事件が起こらないよう、安全確保に向けた取組を推進するために定めています。

学校園では、子どもたちが安心して学校園生活が送れるよう、毎年、危機管理マニュアルの見直しを行い、危機管理体制の点検・徹底を職員会議や教職員研修を通して全教職員で確認しています。また教職員だけでなく、子どもたちの危険予測や危機回避能力、安全への意識向上に繋げる取組として防犯教室や災害時・緊急時等を想定した訓練を実施しています。訓練については、あらゆる事態に対応ができるように、休み時間中の発生を想定した避難訓練や緊急時の引き渡し下校訓練など各校で工夫をこらした訓練が実施されています。

学校園での不審者対応訓練の様子



いざという時のため、警察署の方に講師として来校してもらい、実際の場面を想定した不審者対応訓練を実施しています。実演を通して「さすまた」の使い方なども丁寧に指導していただき、教職員も子どもの安全・安心のために学んでいます。

みんなの
登下校を見守ってるで！



市内在住の小学新1年生を対象にトライくん型防犯ブザーを配付しています。